

研究構想図

【研究主題】

主体的・対話的で深い学びを実現する
『読みの三様態を意識した授業』

【学校教育目標】

「考える子」「やさしい子」「たくましい子」

【小学校学習指導要領】

育成を目指す資質・能力とは

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性など

【児童の実態】

- ・標準学力調査における目標値、全国平均値には至っていない。
- ・課題解決のために既習事項を活用する力が不十分である。
- ・文章の構成や内容を的確に捉えて読むことが困難である。
- ・論理的思考力が不十分である。

【保護者・地域の思い】

- 学力向上
- 学校教育活動へのサポート

【目指す児童像】

- 自分の思いや考えを通して課題を見つめ、読み取り方を考えられる子
- 他者との交流によって、自分の考えを広げたり吟味したりできる子
- 言葉で理解したり表現したりしながら、自分の思いや考えを深める子

【低学年】

- ・説明文の順序や事柄の順序を捉えられる子
- ・自分の思いや考えをもつことができる子
- ・自分と友達の考えを比べ、広げ、違いに気付くことができる子
- ・学びを振り返ることができる子

【中学年】

- ・説明文の叙述をとらえ、自分の経験や知識に基づいて考えをもてる子
- ・友達の考えに共感や考えを吟味するなど、文章を読んで感じたことや分かったことを共有できる子
- ・学びを振り返り、次の学習につなげられる子

【高学年】

- ・説明文を自分の経験や知識と重ねたり、比較したりしながら読むことができる子
- ・自分と友達の考えを比較・再考し、深めることができる子
- ・学んだことを生かし、他の説明文を読んだり、次の学習に取り組んだりする子

【研究仮説】

「読むこと」を段階的（第一段階～第三段階）に学習し、確実に考え方を形成する授業を積み重ねれば、児童に学力の三要素（思考力、判断力、表現力）が育まれると考える。

【研究の手立て】

「読むこと」の三様態を通して、児童に考え方を段階的に形成させ、思考力を深めさせる。

○単元計画作成の手立て

- (1)初めに、第三段階で考えさせたい問い合わせを設け、三様態が明確な単元計画を作成する
- (2)主体的な深い読みにつなげるため、考え方をアウトプットさせる活動を設ける

「読むこと」の三様態

【第三段階の読み】 「自分の考えをもちながら読む」段階

書かれている内容を吟味、評価、選択、補充、比較しながら読ませる。

単元の中心となる課題

第三段階の読みを支える基礎的な課題

【第一段階の読み】 「叙述を正しく読む」段階

叙述を正しく読み取らせ、必要な情報を探してさせる

【第二段階の読み】 「叙述を整理しながら読む」段階

論の展開や事実と意見を整理しながら読ませる